

point!

01

下顎隆起 (かがくりゅうき) について

下顎の内側の骨が部分的に成長して、硬く膨んだ部分のことを下顎隆起と言います。通常、治療の必要はありませんが、入れ歯をつけると当たって痛む場合や、舌が当たって発音がしづらい場合、食事中に下顎隆起周囲の粘膜が傷いてしまう場合には、外科的に除去することができます。



In the mouth



point!

02

口蓋隆起 (こうがいりゅうき) について

上顎の硬口蓋と呼ばれる部分の骨が成長し、硬く膨んだ部分を口蓋隆起と言います。徐々に大きくなるため、気が付かないこともあります。通常、治療の必要はありませんが、入れ歯をつけると当たって痛い場合や、食事中に固い食べ物が当たって口蓋隆起の周りの粘膜が傷つく場合は、外科的に除去することができます。

point!

03

ブラキシズム (歯ぎしり) による弊害について

- 歯と歯を横の動きでこすり合わせる …グラインディング
- 歯と歯を上下押しつけて強くかみしめる…クレンチング
- 歯を小刻みにカチカチ鳴らす …タッピング

グラインディングとタッピングは音が出る歯ぎしりです。クレンチングは音が出ない歯ぎしりです。

音の有る無しに関係なく、また、日中、夜間に関係なく、歯の摩擦はすべて歯ぎしりと呼びます。専門的には「ブラキシズム」と言います。なお、歯ぎしりがある方に下顎隆起と口蓋隆起ができます。

歯ぎしりの力はとても大きく、体重の約 2 倍の力が歯にかかると言われています。特に、寝ている間の歯ぎしりは、無意識のため力の加減がきかず大変危険です。これだけの力が歯に加わると、歯がすり減ってしまったり、歯が欠けたり、歯にひびが入ってしまったりすることがあります。歯ぐきの下の根っこまでひびが入ると、ひびの部分の歯ぐきに細菌が感染して、痛みが出たり膿が溜まって腫れることがあります。その場合、痛みや腫れをとるために抜歯せざるを得ないことがあります。



都立家政南口歯科

DENTAL CLINIC